

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年12月期3Q	309,000,000株	2024年12月期	309,000,000株
2025年12月期3Q	306株	2024年12月期	272株
2025年12月期3Q	308,999,703株	2024年12月期3Q	308,999,805株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、真のグローバル飲料企業として持続的な事業成長と企業価値向上を実現すべく“質の高い成長”を目標に掲げています。2024年からスタートした中期経営計画においては、「ブランド戦略」、「構造改革」、「DEI（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）」、「サステナビリティ」の4つを重要な戦略テーマに掲げ、積極的に事業を展開しています。

当第3四半期連結累計期間の連結売上収益は1兆2,781億円（前年同期比0.0%増、為替中立0.4%増）、連結営業利益は1,266億円（前年同期比9.2%減、為替中立9.0%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は754億円（前年同期比9.5%減、為替中立8.8%減）となりました。

売上収益は、コアブランドを中心に積極的なマーケティング活動を展開し、欧州が増収、日本及び米州は前年同期並みとなりました。アジアパシフィックでは上半期からやや回復が見られたものの引き続き減収となり、当社グループ合計で前年同期並みとなりました。

営業利益は、アジアパシフィックにおける売上収益の減少、日本における原材料や物流コストの高騰、主要国におけるマーケティング費用増などにより、欧州を除き減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[日本事業]

売上収益は、価格改定や商品構成の改善が寄与し、販売数量は減少したものの、前年同期並みの5,565億円（前年同期比0.2%減）となりました。

飲料市場（当社推定）は、価格改定や8月中旬の悪天候の影響等により前年同期を下回りました。当社販売数量は、持続的なコアブランド強化、新商品の投入、積極的なマーケティング活動を行いました。飲料市場と同様の影響を受け、前年同期を下回りました。

ブランド別には、「サントリー天然水」は、1Lペットボトル、「サントリー天然水 きりっとヨーグ」が好調に推移しましたが、特に大容量での競争激化や前年同期における備蓄需要増の反動などの影響を受け、販売数量は減少しました。「BOSS」は、クラフトボスのコーヒーシリーズ「甘くないイタリアーノ」に加え、3月から順次発売された「世界のTEA」シリーズ4品が好調を維持しており、ブランド全体での販売数量は前年同期並みとなりました。「伊右衛門」は、競争激化及び特に大容量で価格改定の影響を引き続き受けており、販売数量は前年同期を下回りましたが、小容量では回復傾向にあります。機能性表示食品の「伊右衛門 濃い味」に加え、「伊右衛門 焙じ茶」、「伊右衛門 京都レモネード」は堅調に推移しました。

自動販売機事業については、自販機キャッシュレスアプリ「ジハンピ」は、計画以上のスピードで9月末には1,200万ダウンロードを達成、「ジハンピ」対応自販機は17万台となりました。「ジハンピ」対応自販機は、お客様の利便性向上とともに自販機1台あたりの収益拡大にも寄与しております。

セグメント利益は、コストマネジメントを徹底しましたが、原材料や物流コスト高騰や、販売数量減の影響を受け、415億円（前年同期比11.9%減）となりました。

[アジアパシフィック事業]

売上収益は、オセアニアは堅調に推移したものの、ベトナム及びタイの飲料事業における販売数量減により、2,827億円（前年同期比4.2%減、為替中立3.0%減）となりました。飲料事業については、ベトナム及びタイでマクロ経済低迷の影響を受け、上半期同様に販売数量が前年同期を下回り、減収となりました。ベトナムでは、競争激化に加えて消費低迷により水カテゴリー以外の飲料市場が縮小、タイでは、例年より低い気温の推移により主力の炭酸カテゴリー市場が落ち込んだ影響を受けました。オセアニアでは、エナジーカテゴリーの伸長と積極的なマーケティング活動により「V」の販売数量が増加、さらに7月に販売を開始したRTDアルコール飲料が寄与し、増収となりました。

健康食品事業については、タイ市場全体の消費低迷や外国人観光客の減少の中でも販売が堅調に推移しており前年並みとなりました。

セグメント利益は、売上収益の減少に伴い317億円（前年同期比16.5%減、為替中立15.8%減）となりました。

[欧州事業]

売上収益は、3,010億円（前年同期比5.1%増、為替中立4.4%増）となりました。イギリスでは、前年上半期に生じた工場稼働率低下の影響の反動に加え、「Lucozade」及び「Ribena」における積極的なマーケティング活動の効果や好天の影響等もあり、増収となりました。フランスでは、砂糖税増税の影響を受け、販売数量は前年同期を下回りましたが、売上収益は前年同期並みとなりました。スペインでは、業務用トニック市場鈍化の影響を引き続き受けているものの、注力している他ブランドの成長により販売数量および売上収益は前年同期並みとなりました。

セグメント利益は、売上収益の増加及びコストマネジメントの徹底により、538億円（前年同期比9.8%増、為替中立9.1%増）となりました。

[米州事業]

売上収益は、非炭酸カテゴリー市場低迷の影響を受けたものの、炭酸カテゴリー等が順調に推移し、1,379億円（前年同期比0.3%減、為替中立2.0%増）となりました。

セグメント利益は、人件費及び製造コストが高騰した影響を受け、170億円（前年同期比3.1%減、為替中立0.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して、売上債権及びその他の債権の増加、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ678億円増加して2兆1,258億円となりました。

負債は、前連結会計年度末と比較して、仕入債務及びその他の債務の増加等により前連結会計年度末に比べ217億円増加して7,645億円となりました。

資本合計は、前連結会計年度末と比較して、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ460億円増加して1兆3,613億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ192億円減少し、1,413億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益1,250億円、減価償却費及び償却費602億円、仕入債務及びその他の債務の増加400億円等に対し、売上債権及びその他の債権の増加446億円、棚卸資産の増加238億円等により、資金の収入は前年同四半期と比べ243億円減少し、1,157億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出602億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ148億円減少し、568億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払386億円、長期借入金の返済による支出251億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ196億円減少し、776億円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び、第4四半期連結会計期間(2025年10月1日～12月31日)の見通しを踏まえ、2025年2月に発表した連結業績予想を以下の通り修正いたします。

修正は、主にアジアパシフィックにおけるマクロ経済低迷、主要国での競争激化、原材料や物流コスト高騰などの影響によるものです。第4四半期連結会計期間においては、引き続き積極的なマーケティング活動やコストマネジメントの徹底に取り組んでまいります。

2025年12月 通期連結業績予想の修正(2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,796,000	161,000	160,500	117,000	90,000	291.26
今回修正予想 (B)	1,721,000	147,000	145,000	105,500	84,500	273.46
増減額 (B-A)	△ 75,000	△ 14,000	△ 15,500	△ 11,500	△ 5,500	-
増減率 (%)	△ 4.2%	△ 8.7%	△ 9.7%	△ 9.8%	△ 6.1%	-
(ご参考) 前期実績	1,696,765	160,249	161,047	117,629	93,495	302.57

主要在外会社損益の為替換算レートは以下の通りです。

前回発表予想：米ドル152.0円 ユーロ164.0円 英ポンド194.0円 シンガポールドル112.0円 タイバーツ4.7円 ベトナムドン0.0064円

今回修正予想：米ドル148.0円 ユーロ168.0円 英ポンド196.0円 シンガポールドル114.0円 タイバーツ4.5円 ベトナムドン0.0057円

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	160,493	141,335
売上債権及びその他の債権	341,028	387,560
その他の金融資産	4,558	2,117
棚卸資産	118,412	142,646
その他の流動資産	34,206	38,828
小計	658,699	712,489
売却目的で保有する資産	1,842	982
流動資産合計	660,541	713,471
非流動資産		
有形固定資産	481,950	484,503
使用権資産	61,495	63,134
のれん	285,224	290,510
無形資産	530,886	534,626
持分法で会計処理されている投資	241	184
その他の金融資産	14,534	14,475
繰延税金資産	15,589	16,871
その他の非流動資産	7,566	8,011
非流動資産合計	1,397,490	1,412,319
資産合計	2,058,032	2,125,790

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	26,666	8,783
仕入債務及びその他の債務	460,147	497,273
その他の金融負債	26,995	22,099
未払法人所得税等	22,054	14,974
引当金	1,578	971
その他の流動負債	6,733	11,252
流動負債合計	544,176	555,354
非流動負債		
社債及び借入金	550	515
その他の金融負債	55,484	59,132
退職給付に係る負債	15,240	16,246
引当金	7,361	6,898
繰延税金負債	111,666	115,926
その他の非流動負債	8,274	10,424
非流動負債合計	198,578	209,144
負債合計	742,754	764,498
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	185,311	185,333
利益剰余金	716,919	754,117
自己株式	△1	△1
その他の資本の構成要素	138,973	144,581
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,209,587	1,252,414
非支配持分	105,690	108,877
資本合計	1,315,278	1,361,292
負債及び資本合計	2,058,032	2,125,790

(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
	百万円	百万円
売上収益	1,277,664	1,278,080
売上原価	△785,167	△792,214
売上総利益	492,497	485,865
販売費及び一般管理費	△351,024	△357,217
持分法による投資損益	182	1
その他の収益	3,861	3,356
その他の費用	△6,071	△5,436
営業利益	139,445	126,570
金融収益	3,709	2,069
金融費用	△3,647	△3,687
税引前四半期利益	139,506	124,952
法人所得税費用	△37,706	△33,225
四半期利益	101,799	91,727
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	83,260	75,365
非支配持分	18,538	16,362
四半期利益	101,799	91,727
1株当たり四半期利益(円)	269.45	243.90

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	101,799	91,727
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	△54	307
確定給付制度の再測定	89	72
純損益に振り替えられることのない項目合計	35	380
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	22,696	1,703
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	△493	672
持分法投資に係る包括利益の変動	76	△3
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	22,279	2,372
税引後その他の包括利益	22,314	2,752
四半期包括利益	124,114	94,479
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	103,733	81,430
非支配持分	20,380	13,049
四半期包括利益	124,114	94,479

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2024年1月1日	168,384	182,229	652,706	△0	84,050	1,087,370	97,656	1,185,027
四半期利益			83,260			83,260	18,538	101,799
その他の包括利益					20,473	20,473	1,841	22,314
四半期包括利益合計	—	—	83,260	—	20,473	103,733	20,380	124,114
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△29,354			△29,354	△16,284	△45,639
非支配持分との取引		290	0			290	△222	68
利益剰余金への振替			57		△57	—		—
所有者との取引額合計	—	290	△29,297	△0	△57	△29,064	△16,506	△45,571
2024年9月30日	168,384	182,520	706,670	△1	104,465	1,162,039	101,530	1,263,569

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2025年1月1日	168,384	185,311	716,919	△1	138,973	1,209,587	105,690	1,315,278
四半期利益			75,365			75,365	16,362	91,727
その他の包括利益					6,065	6,065	△3,312	2,752
四半期包括利益合計	—	—	75,365	—	6,065	81,430	13,049	94,479
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△38,624			△38,624	△9,835	△48,460
非支配持分との取引		21				21	△26	△5
利益剰余金への振替			457		△457	—		—
所有者との取引額合計	—	21	△38,167	△0	△457	△38,603	△9,862	△48,465
2025年9月30日	168,384	185,333	754,117	△1	144,581	1,252,414	108,877	1,361,292

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	139,506	124,952
減価償却費及び償却費	55,612	60,210
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	261	283
受取利息及び受取配当金	△2,845	△2,064
支払利息	3,401	2,877
持分法による投資損益(△は益)	△182	△1
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,491	△23,797
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△36,305	△44,564
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	23,991	39,966
その他	△3,497	△3,293
小計	173,451	154,568
利息及び配当金の受取額	2,991	2,256
利息の支払額	△2,922	△2,699
法人所得税の支払額	△33,556	△38,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,964	115,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△77,565	△60,234
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	1,524	3,059
子会社の売却による収入	4,286	—
その他	204	405
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,550	△56,770
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△2,478	6,257
長期借入金の返済による支出	△5,905	△25,057
社債の償還による支出	△35,000	—
リース負債の返済による支出	△8,200	△10,357
配当金の支払額	△29,354	△38,624
非支配持分への配当金の支払額	△16,284	△9,835
その他	△0	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,225	△77,623
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△28,811	△18,699
現金及び現金同等物の期首残高 (連結財政状態計算書計上額)	171,755	160,493
売却目的で保有する資産に含まれる 現金及び現金同等物の振戻額	1,301	—
現金及び現金同等物の期首残高	173,057	160,493
現金及び現金同等物の為替変動による影響	3,566	△457
売却目的で保有する資産に含まれる 現金及び現金同等物	△12	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	147,799	141,335

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ミネラルウォーター、コーヒー飲料、茶系飲料、炭酸飲料、スポーツ飲料、特定保健用食品、酒類等の飲料・食品の製造・販売を行っており、国内では当社及び当社の製造・販売子会社が、海外では各地域の現地法人がそれぞれ事業活動を展開しています。したがって、当社グループの報告セグメントはエリア別で構成されており、「日本事業」、「アジアパシフィック事業」、「欧州事業」、「米州事業」の4つを報告セグメントとしています。セグメント間の内部売上収益は第三者間取引価格に基づいています。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

	報告セグメント				合計	調整額	連結
	日本	アジア パシフィック	欧州	米州			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
売上収益							
外部顧客への売上収益	557,775	294,985	286,515	138,389	1,277,664	—	1,277,664
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	77	—	1,079	—	1,158	△1,158	—
計	557,853	294,985	287,594	138,389	1,278,822	△1,158	1,277,664
セグメント利益	47,106	38,011	48,983	17,595	151,697	△12,252	139,445

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

	報告セグメント				合計	調整額	連結
	日本	アジア パシフィック	欧州	米州			
	百万円	百万円	百万円	百万円			
売上収益							
外部顧客への売上収益	556,458	282,660	301,028	137,933	1,278,080	—	1,278,080
セグメント間の内部売上収益 又は振替高	53	—	373	—	427	△427	—
計	556,511	282,660	301,402	137,933	1,278,507	△427	1,278,080
セグメント利益	41,497	31,749	53,806	17,042	144,096	△17,525	126,570

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等です。セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。